平和学会　2018年6月22日

中国人の海外育児における『WeChatママグループ』の役割と問題点
―日本在住の中国人母親の観点から―

大阪大学大学院　国際公共政策研究科
博士後期課程１年
張茜樺

本発表の流れ

- 1. 背景＆問題の所在
- 2. 研究目的
- 3. 調査概要＆結果
- 4. 考察
- 5. 本研究の意義＆課題

1.背景＆問題の所在

◇女性の国境を越えた移民の増加→女性の海外出産・育児は重要な課題になる。

◇海外の出産・育児においては、ホスト国の母親と同様な不安の他、言語・文化・社会事情などの違いにより生じる育児困難が多岐にわたり、相談できる家族が身近にいない或いは少ないなど、ただの海外におけるものとは別に情緒不安定の因子になる可能性が高い（橋爪・小畑：2003)

1-1.「WeChatママグループ」とは？

-中国語で「微信妈妈群」
-母親が入っている「WeChatグループ」のことである。

条件①：「グループメンバーは母親、或いは妊婦、妊娠しようとしている方のみ」
条件②：「主なチャット内容は妊娠・出産・育児関連である」

※日本在住の中国人母親に用いられる「WeChatママグループ」のみを研究対象

1-2.なぜ「WeChatママグループ」？

1-3.問題の所在

WeChatママグループの可能性は？

外国人母親に配慮した子育て支援体制の整備について、「外国人母親が居住地に左右されずどこからでもアクセスしやすい子育て関連情報の提供システムの再検討」「個別支援にとどまらず集団支援も視野に入れた活動方法の工夫など」「既存事業の再検討」の重要性が指摘している（歌川・丹野：2012）。

しかし

どいう点で役にたつのか、
どいう点で役に立たないのかをはっきり研究されていない…

*

2.研究目的

「WeChatママグループ」の利用が日本在住の中国人母親の育児生活におけるソーシャル・サポートの獲得に果たす役割と問題点を明らかにする。

3.調査概要&結果

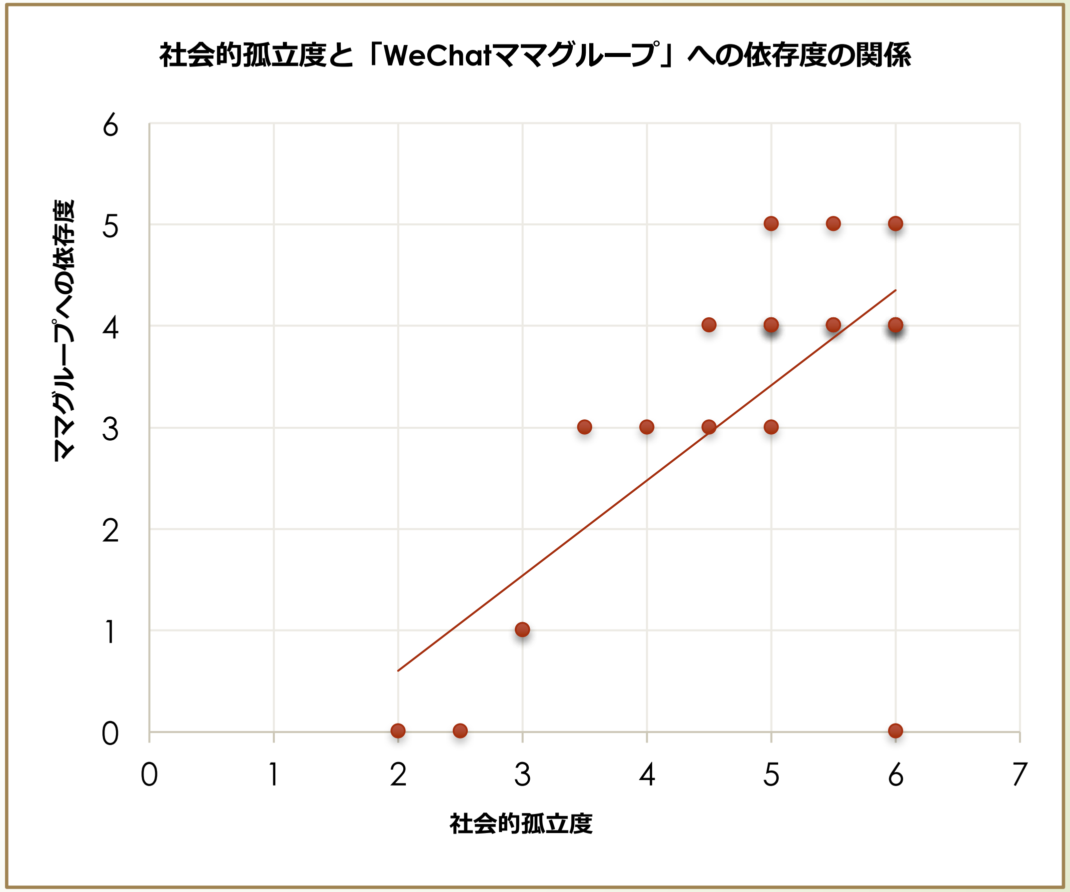
◆調査方法：半構造化インタビュー&参与観察
◆調査対象：日本で暮らしている中国人母親（半構造化インタビュー：26人、15個のママグループ；イベントへの参与観察：3回）
◆調査時期：2017年5月～12月
◆調査場所：ーその母親のお宅、或いはお宅周辺のカフェや公園など（半構造化インタビュー）
ーイベント会場など（イベントへの参与観察）
◆調査内容：ー半構造化インタビュ：基本的属性（在留資格、来日年数、家庭構造など）
育児状況（子育ての手伝いに家族の呼び寄せに有無など）
「WeChatママグループ」の使用状況
「WeChatママグループ」への評価
ー参与観察：「企画段階の困難」「イベント時の参加者の様子」「参加者の感想」
◆使用言語：中国語

3-1.どのような方は利用しているのか？

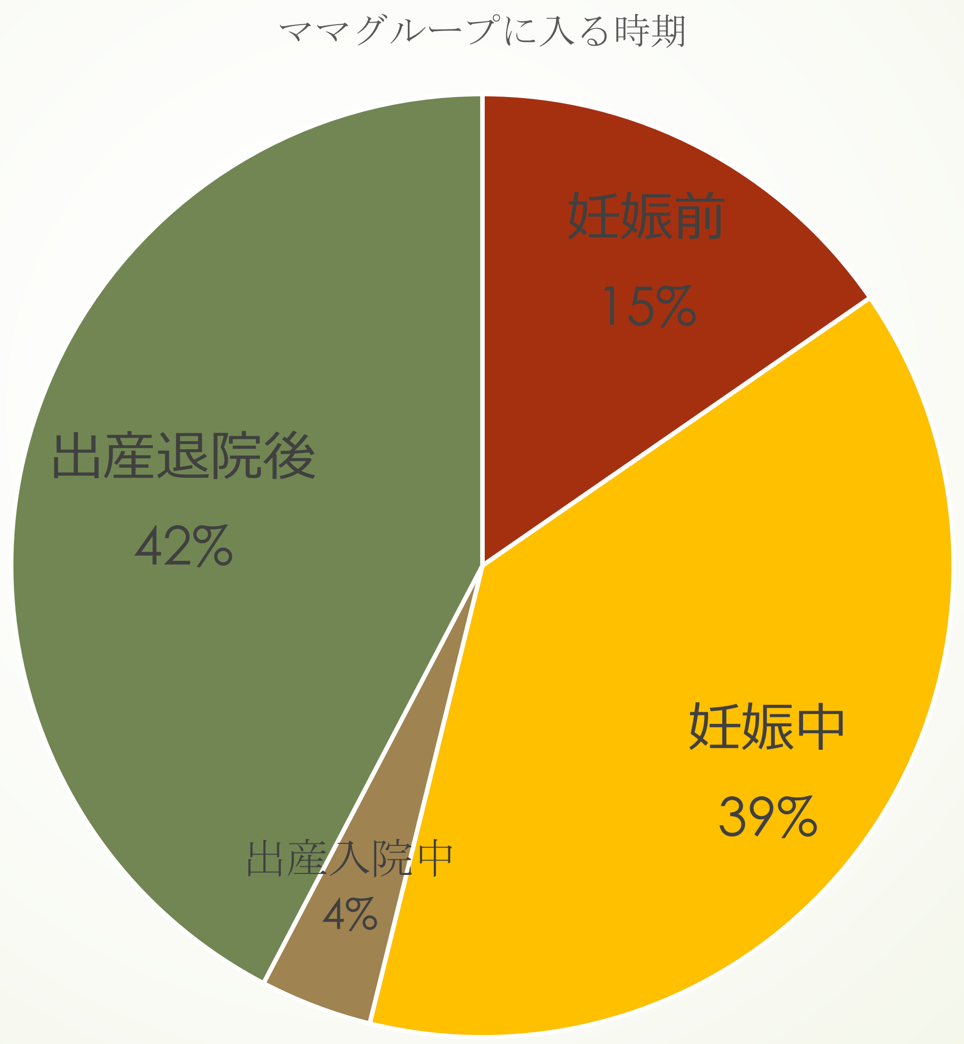
- 就学前の子がいる母親

- 在留資格、来日年数、中国にいる親族の呼び寄せの有無などとの関係性が弱い

- 中国人母親の「WeChatママグループ」への依存度は、来日年数より、社会的孤立度と深く関わっている。



3-2.ママグループに入った時期



3-3.「WeChatママグループ」を用いて、何をしているのか？

普段のチャット

ママグループでのチャット内容は様々である。

①育児関連：子どもの病気・身体異常の対応、子どもアイテムに関する情報、離乳食に関する知識、養育・教育方法など

②日本生活全般：ビザ申請・更新、航空券の購入、中国戸籍の取得に関する情報など

イベントの企画・開催など

	イベント名	時間	参加人数
①	児童節同歓会	2017年5月27日	約300人
②	ハローウィンパーティー	2017年10月22日	約100人
③	クリスマスパーティー	2017年12月15日	約30人
④	お花見会（2018）🌸	2018年3月31日	約80人

3-4.「WeChatママグループ」に対するポジティブ的な評価

- 「WeChatママグループ」を通じてたくさんの中国人ママと知り合った！
- 「WeChatママグループ」のおかげで、近所のママが見つかり、今良く一緒に子ども連れで出かけている！
- 「WeChatママグループ」がなければ、日本での育児生活が「お白湯のように味がない」でしょう！
- 旦那と家族に言っても仕方がない話を「WeChatママグループ」で言ったら、ママ達が非常に理解してくれて、最高な「仲間」だ！
- 育児に関して分からないことがある時、すぐに聞けますので、ありがたい！
- 子どもが異変がある時、経験のあるママがアドバイスをしていただいて、助かった！
- はじめてママになり、非常に経験不足で不安だったが、ママグループのおかげで、色々助かり、不安が大分軽減できた！
- 中国に生活しているママグループよりポジティブ的な発言が多いので、自分も励まされる！
- …

3-5.ソーシャル・サポートの提供状況

機能	例	提供状況	問題点
①道具的サポート	家事、移動、子どもの世話に対する実質的な援助、道具や金銭の貸与	△	
②情報的サポート	子どもの健康や発達に関する知識、アドバイス；海外生活の衣食住に関する情報、及びこれらの情報の確認	○	・正しい答えがない ・重複問題が多い⇄メッセージ量の過剰
③情緒的サポート	子育て悩みの相談と子育てに対する考え方の肯定から得られる安心感、子育て以外の内容からもたらしたリラックス感	○	・情報面の問題からもたらす情緒的不安
④交際的サポート	実際な生活でのやりとり、レジャー、娯楽活動への同行、社交的活動	○	・地域性が弱い ・日本人母親との疎遠
⑤存在証明の提供	特定の集団（共同体）への帰属意識から得られる安心感や、（バーチャルな社会を含む）社会の中での居場所や存在証明の提供	○	

4.考察

ママグループの種類	数	特徴（良いところ）	特徴（良くないところ）	
大ママグループ （100人以上）	4個	・チャット内容が豊富 ・質問に対する回答率が高く、速度が速い ・イベントが企画される	管理の欠如	・正しい答えがない ・重複質問⇄チャット量が多すぎる時がある ・地域性が弱い
中ママグループ （10人～100人）	5個	・地域性がより強い		・一時的なものが多い ・普段のチャット交流が少ない
小ママグループ （10人以下）	6個	・深い交流ができる ・地域性がさらに強い		・質問に対して、皆分からない時がある ・使用率が低い場合もある

5.本研究の意義＆課題

【意義】今後、日本在住の中国人育児家庭への支援策設定における「WeChatママグループ」の活用を検討する際に、理論的な根拠を提供できる。

【課題】-全体像が把握できなかった。
-多国籍・地域の母親との疎遠

参考資料

[1] 歌川孝子2008「在日外国人の異文化ストレスに関する研究の動向―異文化ストレスの実態と地域保健活動の課題―」新潟大学医学部保険学科紀要、9(1), pp.131-136
[2]歌川孝子・丹野かほる2008「在日外国人の異文化圏での妊娠・出産・育児に関する文献検討―1987年から2008年の母子保健研究の分析から―」『第39回日本看護学会論文集』（地域看護）、pp.54-56
[3]歌川孝子・丹野かほる（2012）「在日外国人母の子育て支援の現状と課題―市町村保健師を対象とした実態調査から―」『こころの文化』、第11巻第1号pp.81-87
[4]大久保麻矢・玄番千恵巳（2016）「在日外国人の母子保健におけるパートナー支援の必要性―バングラデシュ人夫婦について―」『東京家政大学研究紀要』第56 集（1）pp.97-102
[5]清水嘉子（2004）「母親の育児ストレス国際比較―韓国（京畿道）・中国（北京）・ブラジル（ブラジリア）・日本（静岡）」から―」『母性衛生』第45巻2号pp.159-169
[6]武田真由美（2007）「A県における在日外国人の子育てニーズに関する探索的研究―在日外国人保護者、行政担当者、支援者へのインタビュー調査より―」『社会学部紀要』　Np.103pp.115-127
[7]鄭楊（2006）「在日中国人家庭における「家族・親族の共同育児」の変容－育児援助の事例研究から－」『教育学論集』、Vol. 32, pp. 23-34.
[8]橋爪きょう子、小畑秀悟他（2003）「在日外国人女性の精神鑑定例―異文化葛藤要因としての出産・育児―」『犯罪学雑誌』69(2), pp.36-43
[9]濱村美和子・狩野鈴子・三島みどり・永島美香（2004）「在日外国人育児の現状について（第1報）―在日フィリピン人の母親の育児ストレスとその対処法―」『島根県立看護短期大学紀要』第10巻、pp.45-52
[10]南野奈津子（2017）「移住外国人女性の子育て困難とサポートネットワークに関する研究」『社会福祉学評論』第18号pp.1-12
[11]山中早草（2014）「外国人母親の社会的ネットワーク構築に関する研究：日 豪における就学前教育サービスの視座から」（大阪大学人間科学研究科博士論文）
[12]山村文（2005）「幼児をもつ母親の生活満足度とソーシャル・サポートの関連性について」『帝京大学心理学紀要』No.9, pp.73-92
[13]李節子（2004）「多民族文化社会における小児保健の課題」『日本小児保健協会50周年記念特別号』第63巻　pp.115-117
[14]Garbarino, J. (1983) Social Support Networks: RX for the Helping Professions, In J. Whittaker, J. Gabarino & Associates. (Eds), Social Support Networks: Informal Helping in the Human Services, New York: Aldine Publishing Company, 3-28
[15] House, J. (1981) Work, Stress and Social Support, Menlo Park, CA: Addison-Wesley
[16] Wills, T. A. & Shinar, O. 2000, Measuring Perceived and Received Social Support, In S. Cohen, Underwood, L. G. & Gottlieb, B. H. (Eds.), Social Support Measurement and Intervention: A Guide for Health and Social Scientist, Oxford: Oxford University Press, 86-135
[17]IOM（国際移住機関）「Global Migration Trends Factsheet 2015」 http://www.iomjapan.org/img/usr/Global_Migration_Trends_2015.pdf （2017年10月19日アクセス）

ご清聴
ありがとうございました！